

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

麻しん患者の交通機関の利用について

一関保健所管内で2月10日（火）に届出があった麻しん患者の行動歴を調査したところ、周囲に感染させる可能性のある時期に下記の交通機関において不特定多数の方と接触した可能性があることが判明しましたので、お知らせします。

記

1 患者の概要 ※2月10日提供資料から変更なし

- (1) 居住地：一関保健所管内
- (2) 年代、性別：20代、男性
- (3) 発症日：令和8年2月5日（木）

2 周囲に感染させる可能性のある時期に不特定多数と接触した可能性がある交通機関

麻しん患者が周囲に感染させる可能性のある時期（発症の1日前から解熱後3日間を経過するまで）に利用し、不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び交通機関は以下のとおりです。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされていますので、麻しん患者が利用した交通機関を現在利用しても感染の心配はありません。

〈日時及び交通機関〉

日付	利用時間（目安）	交通機関
2月4日（水）	10時37分（発）から 13時10分（着）まで	東北新幹線 やまびこ 57号 東京駅 から 一ノ関駅

3 県民の皆さまへのお願い

- ・ 上記の交通機関を利用された方で、利用日から3週間（21日間）の期間に、発熱、発疹等の症状から麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。
また、医療機関に受診の際は、周囲への感染を拡げないよう、可能な限り公共交通機関等の利用を避けてください。
- ・ 交通機関への直接のお問い合わせはお控えください。
- ・ 麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種（1歳と小学校入学前の1年間）がお済みでない人は、接種を検討してください。

4 特記事項

本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、患者及び家族等の個人情報については、プライバシーの保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、特段の御配慮をお願いします。

また、各施設等への直接のお問い合わせはお控えいただき、施設に対する風評被害が生じないようお願いいたします。

5 麻しんの発生状況

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年※
岩手県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	23

※ 岩手県の情報は2026年2月12日現在です。

全国の情報は2026年第5週(令和8年1月26日から令和8年2月1日)までの累積速報値です。

[参考] 麻しん（はしか）について

- 麻しんの潜伏期間は、通常10～12日間であり、麻しん患者と接触した場合には、接触後3週間（21日間）注意が必要です。
- 感染すると約10～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が2～4日続き、咳、鼻水といった風邪のような症状が出ます。
その後、少し体温が下がり、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。
発疹出現後3～4日間で解熱し症状は軽快、合併症のない限り7～10日後には症状が回復します。
- 感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。
- 発症した人が周囲に感染させる期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間と言われています。